

社協だより サポート なよろ

Vol.34 / 平成30年11月

Contents (目次)

- p1. サロン陽だまりの皆さん (表紙)
- p2. シリーズ「まちのホット情報」
- p3. ガチパラ in 名寄
成年後見木曜相談会
- p4. 共同募金委員会からのご案内
- p5. サポートなよろ手話講座
ソロプチミスト名寄 軽自動車寄贈
職員募集案内
愛情銀行からのお礼
- p6. シンポジウム
「誰もが暮らしやすい地域をつくるために」
のご案内



サロン陽だまりの皆さん (2018.10.10)

第25回福祉標語最優秀賞

さしだす手 その手は勇気と 希望の手

風連中学校 1年 木戸口 美乃 さん

発行 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

〒096-0011

北海道名寄市西1条南12丁目

名寄市総合福祉センター内

TEL : 01654-3-9862 / FAX : 01654-3-9949

ホームページ <http://www.nayoro-shakyo.jp>

E-mail info@nayoro-shakyo.jp

〔風連支所〕

〒098-0507

名寄市風連町西町196-1

名寄市役所風連庁舎内

TEL・FAX : 01655-3-3777

お急ぎの場合や夜間・休日等は
「01654-3-9862」におかけ下さい。

FAXは24時間送信可能です。

名寄市社協ホームページ
[PC&携帯でご覧いただけます]
<http://www.nayoro-shakyo.jp>



facebook

<http://www.facebook.com/nayoroshakyo>

シリーズ まちのホット情報

平成30年度の社協だより「サポートなよろ」（全6回発行）では、「シリーズ『まちのホット情報』」として、私達の生活を支えている「まちの福祉情報」を毎月お届けしています。

No.4

社会福祉法人なよろ陽だまりの会 陽だまり

サロン陽だまり

(理事長 池 昇一/施設長 長谷川 まゆみ)

第4弾の今回は、なよろ陽だまりの会が行っている「サロン陽だまり」です。

職員や利用者の皆さんからお話を伺いました。

質問 「サロン陽だまり」はどういった場所ですか？



陽だまりの皆さん

(左上から、藤本弘美さん、桑原千穂子さん、石川弘美さん、大場恵子さん
左下から、柳佑果さん、木村優樹さん、片岡葉さん、渡辺実知香さん)

サロン陽だまりには、休憩や趣味の場として自由に利用いただけるスペースと喫茶店スペースがあり、喫茶店ではオムライスやそば・うどんなどの食事の提供や、名産野菜を使用したオリジナルケーキなどの販売を行っています。

その他、JA婦人部から野菜を仕入れて販売をするなど、地域に密着した取り組みを進めています。

「サロン陽だまり」の名前が少しずつ浸透してきており、足を運んでくださる方も増えてきていますので、家族でのランチや友人とのお茶会にぜひご利用ください。

質問 どのような仕事を担当していますか？

木村 優樹さん



ケーキの製造販売や接客を担当しています。

また、毎週水曜日の13時から14時半には健康体操があり、その時には地域の皆さんと一緒に体を動かして交流しています。

興味のある方はぜひ一度健康体操にお越し下さい。



(健康体操の様子)

質問 おすすめポイントを教えてください

柳 佑果さん



手作りケーキがおすすめで、中でもチョコレートタルトが特におすすめです。



(おすすめの手作りケーキ)

また、名産のほうれん草やかぼちゃを使ったケーキもありますので、ぜひ食べてみてください。

片岡 葉さん



地域の皆さんが自由に休憩できるスペースがおすすめです。

最近では利用する地域の方が少しずつ増えてきて皆さんとの交流を楽しんでいますので、近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

質問 サロン陽だまりで行っているイベントを教えてください

片岡 葉さん



8月の「国連ふるさとまつり」や9月の「ふうれん街なガマルシェ」では、会場の一つとして参加をしています。

また、独自にコンサートを開催するなど、イベントでは普段とまたひと味違う雰囲気味わえるので、ぜひお越しください。

サロン陽だまり



■開設時間などのご案内

9:00~17:00 (定休日:日曜、月曜、祝日)
名寄市風連町本町65
TEL:01655-6-7700

ガチパラ! in 名寄

9月30日に平成30年度第2回市民ボランティア講座として、「ガチパラ! in名寄」を名寄社協とガチパラ! 実行委員会での主催で開催しました。

ガチパラ! は、ウィルチェアーラグビー日本代表の池崎大輔選手が代表となり、障がい者スポーツをとおして、正しい障がい理解の啓発や障がいや年齢に関わらない参加者同士の交流を生み、更にはスポーツの裾野の拡大を目的として全道各地で開催されており、6回目の開催を名寄で行いました。

当日は約350名の市民に会場いただき、様々なスポーツの試合観戦や体験、またトークショーなどをとおして、新たな発見や交流が多く生まれた一日となりました。



(参加者も一緒に行ったウィルチェアーラグビー)



(様々な交流があったボッチャの体験)

スペシャルトーク

2度のパラリンピックで4個(金3・銀1)のメダルを獲得し、4年後の北京大会へ向けて拠点を名寄に移し競技生活を送っているアルペンスキーの狩野亮選手と、リオデジャネイロパラリンピック銅メダリストの池崎大輔選手によるトークショーを実施しました。



2人のトップアスリートから、夢を持ち努力すること、そのために支え合うことの大切さなどをお伝えいただきました。



(フロアカーリングと合わせて行った車いすカーリングの体験)

協賛・協力ありがとうございました!

協賛企業		株式会社Giggles	
協力企業		NPO法人 なよろ観光まちづくり協会	株式会社 Faro (就労継続支援A型事業所チーズ工房マヤッカ)
株式会社 北星FPC (就労継続支援A型事業所みなみな)	社会福祉法人 道北センター福祉会	社会福祉法人 なよろ陽だまりの会	社会福祉法人 名寄みどりの郷
道北なよろ 農業協同組合	名寄金融協会	名寄商工会議所	風連商工会議所

成年後見木曜相談会 相談無料

開催日時
毎週木曜日
13時～16時
開催期間
平成31年3月末まで

開催場所
ここほっと
西條名寄店1階
ナマステネパール様隣
(01654-8-7133)

相談内容

- ・成年後見制度ってなに?
- ・どんな手続きが必要?
- ・成年後見センターは何をしているの?

などなど、成年後見制度に関することをお気軽にご相談ください

成年後見制度とは、認知症や知的・精神障がいなどがきっかけで、財産管理や契約手続きなどを行うことが困難な方に代わり、各種手続きなどを行える方が就任することで、今後も住み慣れた地域での暮らしを継続できるようにお手伝いする制度です。

財産管理や各種サービスの契約が難しいなどのお悩みのある方、そういったご家族やご親戚がいる方、成年後見制度の利用も含め今後の暮らしを一緒に考えさせていただきますので、お気軽にお越しください。

■主催・問い合わせ先
名寄市社会福祉協議会 名寄市成年後見センター
TEL:01654-3-9862/FAX:01654-3-9949
E-mail:soudan@nayoro-shakyo.jp



「北海道社会福祉総合基金」の助成を受け実施しています。

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます!!

10月から行っている赤い羽根共同募金運動へのご協力ありがとうございます。

町内会や街頭、事業所、職場、学校募金などで寄せられた皆さんの温かいお気持ちは、社会福祉協議会や市内外で活動している福祉団体などに助成され、私たちが暮らす地域づくりの様々な場面に生かされます。

赤い羽根募金の使い道

- 高齢者や障がいのある方へのサービス
- 町内会活動の支援
- ボランティアの育成や活動支援
- 行事用テントの購入助成
- 学校での福祉教育やボランティア活動
- 災害復興の支援
- 高齢者・障がい者団体への支援
- 施設の修理や機器購入など、私達の暮らしの様々な場面に役立てられます

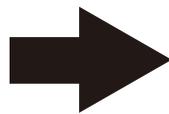


Illustration by 白黒にゃん箱
©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

引き続きご協力をお願いいたします!

10月15日現在
募 金 額

497,755円



赤い羽根共同募金
平成30年度目標額

5,100,000円

目標額まであと
4,602,245円

共同募金の運動期間は12月31日までです。募金は名寄市共同募金委員会で受付けています。

歳末たすけあい運動 ご協力よろしく申し上げます!

共同募金運動の一環として行っている「歳末たすけあい運動」を今年も12月1日より行います。



この運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、義援金の助成に加え、町内会での年末年始の高齢者との食事会や配食などの地域福祉活動の推進に役立てられる、地域の皆さんの温かい気持ちに支えられている運動です。

赤い羽根共同募金に引き続き、ご協力をよろしく申し上げます。

お問い合わせ先

名寄市共同募金委員会

〒096-0011 名寄市西1条南12丁目
名寄市総合福祉センター内
TEL : 01654-3-9862 FAX : 01654-3-9949

平成30年北海道胆振東部地震義援金のお願い

平成30年9月6日に発生した地震により、人的被害をはじめ家屋の倒壊、断水、停電等の甚大な被害が発生し、北海道全域での災害救助法が発令されました。

名寄市共同募金委員会では、被災された方々の支援を目的とした義援金の募集を行っています。少しでも早い生活再建に向け、皆様のご協力をお願いいたします。

募金活動（受付）期間 平成30年12月25日

集められた募金は、中央共同募金会に集約され、行政・共同募金会・日本赤十字社などで構成される配分委員会を通じて、被災者へ配分されます。

募金は名寄市共同募金委員会へ直接お持ちいただくか、ご連絡をいただければお預かりに伺います。

サポートなよろ 手話講座

Part.16 「地震」

平成27年3月に「名寄市みんなを結ぶ手話条例」が施行されました。

社協だよりでは、上川北部聴覚障害者協会名寄支部の協力を得て毎号生活に役立つ手話をご紹介します。

※手話に興味がある、覚えたいという方は名寄社協までお問い合わせ下さい。



やり方・・・両手の「手のひら」を上に向けて、2回前後に動かす。
(地震で揺れている様子を表す。)

●ソロプチミスト名寄から軽自動車寄贈

国際ソロプチミスト名寄（坂田由里子会長）の認証35周年記念事業として軽自動車1台を名寄市に寄贈いただき、名寄社協で車輛を使用させていただくこととなりました。

10月10日に贈呈式を総合福祉センターで行い、今後車輛は名寄社協が実施する地域福祉活動や生活困窮者自立支援事業、成年後見センター運営事業などに使用させていただきます。ありがとうございました。



●名寄社協職員募集

■主任介護支援専門員・介護支援専門員

（採用日：平成31年4月1日／ただし、即就労も可）
正職員 若干名／嘱託職員 若干名

■訪問介護員

（採用日：平成31年4月1日／ただし、即就労も可）
正職員 若干名／嘱託職員 若干名

■募集期間 平成30年11月13日（火）

■試験期日 平成30年11月18日（日）午前10時
※必要書類、試験内容、賃金等の詳細については名寄社協総務係までお問い合わせください。

■地域支援事業職員

（採用日：平成31年4月1日）
嘱託職員 1名
勤務内容 シルバーハウジング入居者の相談援助

■名寄市総合福祉センター宿直・日直職員

（採用日：平成31年4月1日）
臨時職員 1名
勤務時間 日直 8：45～17：30（週3～4日程度）
宿直 17：15～8：45（週9～11日程度）

愛情銀行への預託ありがとうございました！

愛情銀行は、昭和44年に市民の皆さんの愛情を善意として積み立て、社会福祉事業に活用することを目的に開始されました。現在は、会葬礼状としてご利用いただいている「福祉はがき」をはじめ、チャリティ映画会の益金、金銭や物品寄付を、福祉団体の福祉器具購入助成など市内の地域福祉・在宅福祉事業に有効に活用させていただいています。



◇愛情銀行寄託[福祉はがき]

（平成30年8月1日～平成30年9月30日）

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
8	33,000円	1	9	0円	0	合計	33,000円	1

◇愛情銀行寄託[一般寄付]

（平成30年8月1日～平成30年9月30日）

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
8	405,000円	15	9	75,000円	4	合計	480,000円	19

誰もが暮らしやすい 地域をつくるために

12/1 (土)

13:30 ~ 15:00 (受付 13:00 ~)

会場

名寄市民文化センター

1階 多目的ホール (名寄市西13条南4丁目)

進行

長谷川 武史 氏

名寄市立大学 保健福祉学部社会福祉学科 准教授

地域福祉が主な研究分野であり、地域生活を送っていく際にどのような問題が起こり、地域生活を阻害していくのか、またそれに対してどのように社会福祉は対処出来るのかについて研究をされている。市内の地域福祉活動にも積極的に参加され、地域と共に問題解決を図るため活動を行っている。

■申し込み・問い合わせ先

名寄市社会福祉協議会 (地域支援係)

〒096-0011

名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内

TEL:01654-3-9862 / FAX:01654-3-9949

E-mail:chiiki@nayoro-shakyo.jp

・名寄社協主催「平成30年度第4回市民ボランティア講座」並びに「上川圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の出前講座」として開催します。

・手話及び要約筆記通訳が付きます。

・共同募金の助成金が役立てられています。

目的

誰もが暮らしやすい福祉やまちづくりについて、さまざまな視点からシンポジウム形式でお話いただきます。また、年齢や障がいに関わらず誰もが暮らしやすいまちづくりなどについて、参加者と共に考えていきます。

登壇者

岩間 勝美 氏

日本赤十字社北海道支部 点字図書センター

視覚障がいは「情報障害」である、という視点から、視覚障がいもたらす日常生活上のさまざまな課題（不便さ）について、自らの体験を通して視覚障がい者に対する理解を得るための活動に力を入れている。

佐藤 祐 氏

自立生活センター ラピタ代表
上川圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会 委員

出生時の障がいで脳性まひとなり、車いすでの生活を送る。現在は東川町在住で、旭川市中心に上川エリアで、障がい者の地域生活や自立生活を支えるための活動など、さまざまな活動を行っている。

柴野 武志

名寄市健康福祉部社会福祉課 主幹
上川圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員

名寄市の障がい福祉の現状や名寄市で行われている活動などについて紹介し、情報交換していく。

■申し込み

11月22日(木)までに、電話・FAX・メールなどにて、名寄社協までお申込みください。